

産官学大交流会2005

NPO法人 全国産官学交流団体連盟 宮本幹夫理事長

意気投合

幾多の異業種交流会が一堂に集結 新たな出会いの場の創造へ

「一期一会とよく言うが、その意味を理解し、機会に気付き、行動している人こそが人脈を広げ成果を上げる。今回紹介する産官学大交流会2005は、人脈そのものと言える「異業種交流会」同士の交流会。五〇もの団体が一堂に会する珍しい機会を得て参加者たちも心躍らせているようだった。」

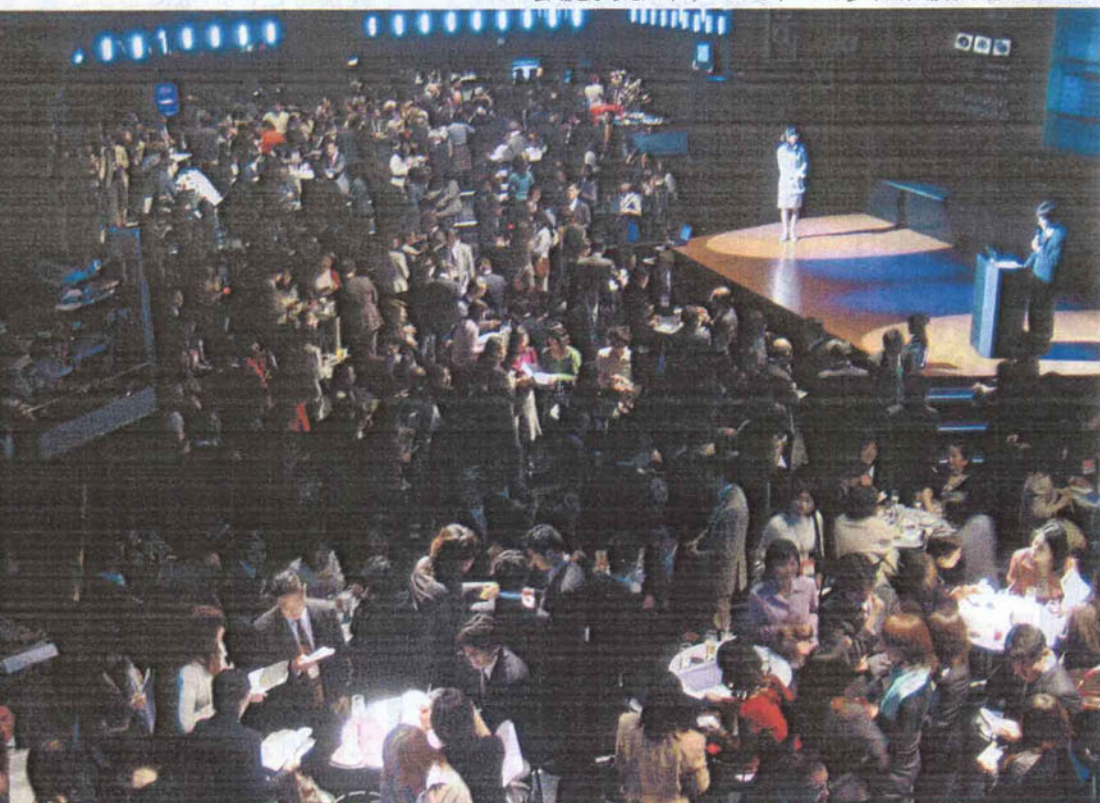
「出会わなければ
始まらない」

二月九日、首都圏を中心に活動する約五〇もの異業種交流会及び団体がコラボレーションしての大交流会が東京・六本木のベルファールで開催され、新しい出会いを求めるビジネスマンたちで賑わった。

「出会わなければ、始まらない。語らなければ、伝わらない。動かなければ、実らない」こんなコンセプトを掲げてこのイベントを主催したのが、全国産官学交流団体連盟（東京都港区）だ。産・官・学界で各種の交流活動の主催者や協力者が中心となり交流をテーマとしてそれぞれの活性化を図る目的で設立された特定非営利活動法人で、会員数は総計で現在約一万五〇〇〇人規模という。

「人脈同士の交流を行うことで、新しい何かが生まれると思い、開催しました。法人自体、昨年四月に設立したばかりの組織で、

会場となった六本木・ベルファールは多くの来場者で埋め尽くされた





上／観世流能楽を披露した武田宗典氏らも会に参加
左／来場者で集合写真をパチリ



ITを利用したコミュニケーションツールの紹介

この日、オープニングで来場者の度肝を抜いたのが観世流「能楽」の披露だった。「いつもは能楽堂で舞うことが多く、このような舞台で行うことは、ほとんどありません」挨拶に立った観世流準職分・武田文志氏は言う。「しかしながら、この舞台に立った理由がもちろんあります。この会場にお見えになられた方

「**一期一会の縁を大切に**」
今回が始めての大会なのです」
同法人の理事長を務める宮本幹夫氏は、自らも異業種交流会の「リンク」を主催している。活動を通して知り合った他の異業種交流会の主催者たちと、主催者同士の交流会を通じて意気投合し、この会を設立したのだという。

の多くは、能楽に触れる機会がほとんどないと思います。この機会に能楽を少しでも知っていただき、楽しんでいただければ、これは、またとない貴重な時間となると思います。この舞台を舞った後には私たちが皆様と一緒に交流会に参加させていただきたく思っていますので宜しくお願いします」

万雷の拍手を浴びた武田氏の挨拶は、この大交流会のテーマが集約された一言であったのかも知れない。初めての人・物事と出会い、自らの思いを相手に語りかけ、更には自ら行動して新しい人の輪を作り広げていく。思いがけず貴重な舞台を目の当たりにした参加者たちも、思いを新たにしていた様子だった。

